

Tottori University Global Human resource program



鳥取大学
グローバル人材
育成教育プログラム



Q. **TOUGH**についてもっと知りたい・登録について相談したい。

A. **プログラム担当教員に相談**
 教養教育センター／和田 綾子 教授
 ✉ awada@tottori-u.ac.jp
 データサイエンス教育センター／井上 順子 教授
 ✉ inoue@tottori-u.ac.jp
 国際交流センター／御舘 久里恵 教授
 ✉ otachik@tottori-u.ac.jp

Q. **グローバル強化コース**について相談したい。

A. **各学部担当教員(教務担当副学部長)**に相談

Q. **留学**について相談したい。

A. **国際交流課国際戦略推進室**に相談
 ✉ kokuko-renkei@ml.adm.tottori-u.ac.jp



Q. 鳥取大学の**グローバルな取り組み**が知りたい。

A. **鳥取大学国際交流・留学情報ホームページ**
<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja>



鳥取大学 国際交流

検索



TOUGH program Towards the Globalized World

TOUGHは一定の基準を満たした学生を「タフで実践力のあるグローバル人材」と認め、大学から認定証を授与するものです。グローバル人材としての基礎力を養うことを目的とした「グローバル基礎力養成コース」では、学生生活を送るうえでの目標設定やグローバル人材として必要な教養の修得、さらに海外での学びをトータルにサポートします。より高いグローバル能力を養うことを目的とした「グローバル強化コース」では、専門知識を英語で学び、より実践的なグローバル活動のサポートをします。それぞれのコースを修了して授与される認定証は、就職活動などでグローバル人材として必要な資質を備えていることをアピールするのに役立てることができます。

TOUGHでの学びを通して、「タフで実践力のあるグローバル人材」として、日本や世界といった場所に縛られずあなたの可能性を大きく広げましょう。

※「TOUGH」とは、グローバル人材育成教育プログラム(Tottori University Global Human resource program)の略称です。

グローバル人材育成教育プログラム(TOUGH)で
身につけたい3つの能力

グローバル人間力

自己開発・強化力、自己管理能力、課題発見・解決力

グローバルリテラシー

発信力、地球的課題理解力、異文化理解・受容力

グローバルコミュニケーション力

英語通用力、トリリンガル能力、プレゼンテーション能力、
ディベート能力、チームワーク力

【タフで実践力のあるグローバル人材】



0

登録説明会

1

グローバル
ポートフォリオ

目標設定を設定し、行動計画を立てよう！

3

グローバル活動

学内外のグローバル活動に参加して、
グローバル人材としての
実践力を身に付けよう！

世界情勢、文化、歴史を知り
自信をもって海外に出かけよう！
基礎科目の受講

2

グローバル
基礎力養成コースに
登録

4

グローバル
ポートフォリオ

活動を振り返り、
身につけた能力や
自分の成長を確認しよう！

認定証

グローバル
基礎力養成コース
修了

1

グローバル
ポートフォリオ
新しい目標を設定し、
行動計画を立てよう！

2

強化専門
科目の受講
自分の専攻の
勉強も外国語で
チャレンジしよう！

4

グローバル
ポートフォリオ

様々な活動に参加して
実践力も強化しよう！
グローバル活動

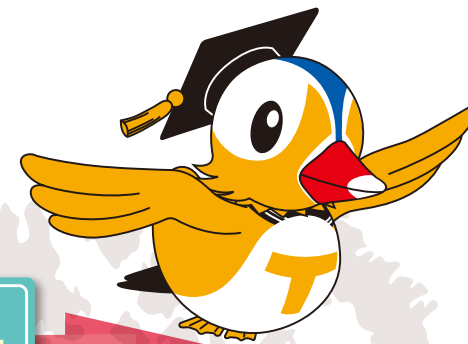
3

認定証

グローバル
強化コース
修了



海外のみならず、
日本においても
グローバルに活躍！



登録はホームページ上の登録フォームに入力するだけ！

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/ja/tough>



登録時期は、年1回4月です。年度開始時に開催される「登録説明会」に参加し、HP上の登録フォームに入力してください。

TOUGH 2つのコース紹介



グローバル人材として必要な基礎力を養うことを目的とした「グローバル基礎力養成コース」と、国際通用性のある専門知識と、より高いグローバル能力を養う「グローバル強化コース」の各コースの修了には次の要件を満たす必要があります。両コースとも認定は要件を満たした時点で随時行います。

修了要件を満たした方には、「グローバル基礎力養成コース」或いは「グローバル強化コース」の認定証が発行され、進学や就職活動時にグローバル人材として必要な能力を身に付けていることを、アピールすることが出来ます。

グローバル基礎力養成コース

充実した大学生活を！

- 登録要件：なし
- 対象学生：全学部1年生～（医学部医学科を除く）

グローバル活動ポイント

留学や海外研修、国内での国際交流など、様々な活動を「グローバル活動」として認め、活動ごとにポイントを付与します。グローバルな実践力を身に付けましょう。

参照：「グローバル活動ポイント一覧」P5

基礎科目

全学共通科目履修案内に記載されている「グローバル教育基礎科目群」の中から選びます。海外や日本の歴史、文化、政治・経済、自然・生態などの多彩な知識を学んだり、相互理解を深め、課題解決に受けて協働する力を身に付けます。英語で実施される授業もあります。

グローバルポートフォリオ

大学生活の目標を設定し、コースや研修で学んだことをまとめて、自分だけのポートフォリオ（自己分析と目標）を作成します。P (Plan) D (Do) C (Check) A (Action) サイクルに従って計画を立て実行し、それに対する振り返りができます。

【修了要件】

下記の5つの要件を満たした方には、「グローバル基礎力養成コース」を修了したことを証明する認定証を発行し、グローバル人材として必要な基礎力が身についたことを認定します。

①基礎科目

全学共通科目「グローバル教育基礎科目群」（外国語科目を除く）の中から12単位以上修得する。

＊ただし、以下の科目から2単位以上修得すること。

- ・「国際理解（グローバルスタディーズ）Ⅰ」
- ・「国際理解（グローバルスタディーズ）Ⅱ」
- ・「海外安全マネジメントⅠ」と「海外安全マネジメントⅡ」（2科目で2単位）
- ・「グローバルイシュー（地球規模課題）」
- ・「世界の中の日本：Japanese society and culture」

②グローバル活動ポイント

P5に挙げるグローバル活動に参加して報告書を提出し、合計8ポイント以上獲得する。

③成績

要件①「基礎科目」の対象科目のGPAが2.5以上

④外国語能力

以下のいずれかを有する。（当該言語を母語とする場合は対象外）

言語	対象学生	試験名	級／スコア
英語	全学生	TOEIC	600点以上
中国語		中国語検定試験	4級以上
韓国語		ハングル能力検定試験	3級以上
スペイン語		スペイン語技能検定	4級以上
フランス語		実用フランス語技能検定試験	3級以上
ドイツ語	留学生	ドイツ語技能検定試験	3級以上
日本語		日本語能力試験	N2以上

⑤グローバルポートフォリオ

各年度末の定められた期間に「グローバルポートフォリオ」を作成し、提出する。

特段の理由なく定められた期間に提出できなかった場合、次年度以降継続しないものとみなす。



グローバル強化コース

グローバル化する社会で 一歩リード！

- 登録要件：グローバル基礎力養成コース登録者又は修了者かつTOEIC500点以上
- 対象学生：地域学部、工学部、農学部

グローバル活動ポイント

グローバル基礎力養成コースに引き続き、参加したグローバル活動にポイントを付与します。よりポイントの高い活動に挑戦しましょう。

参照：「グローバル活動ポイント一覧」P5

強化専門科目

各学部の専門教科について外国語で学びます。留学先での授業をスムーズに受けることができるようになります。また、国際学会等での研究発表にも役立ちます。

グローバルポートフォリオ

基礎コースで学んだことを振り返り、自分の目標をブラッシュアップして、卒業後のキャリアについて明確なイメージを持ち、PDCAサイクルを用いてグローバル人材として必要な能力を向上させる機会とします。

※PDCAとはPlan-Do-Check-Actionの略称です。

【修了要件】

下記の6つの要件を満たした方には、「グローバル強化コース」を修了したことを証明する認定証を発行し、グローバル人材として必要な高い語学力と専門知識を修得したことを認定します。

①「グローバル基礎力養成コース」修了

②強化専門科目

各学部指定の強化専門科目から計6単位以上修得する。

③グローバル活動ポイント

「グローバル基礎力養成コース」の修了要件②に挙げたグローバル活動に参加して報告書を提出し、「グローバル基礎力養成コース」のポイントとして認めたポイントと合計して13ポイント以上獲得する。

＊持続性社会創生科学研究科に進学した者については、同研究科在学時の活動もポイントとして認め、修了要件を全て満たせば修了証を発行する。

＊P5に挙げた15の活動に加え、「鳥取大学ITP」修了者には5ポイントを与える。

④成績

判定時または学部卒業時の全履修科目のGPAが2.5以上

⑤外国語能力

以下のいずれかを有する。

言語	対象学生	試験名	級／スコア
英語	全学生	TOEIC	800点以上
		TOEFL iBT	87点以上
		IELTS	6.5以上
		実用英語技能検定試験	準1級以上
日本語	留学生	日本語能力試験	N1

＊持続性社会創生科学研究科に進学した者については、同研究科在学時に取得した級やスコアも認め、修了要件を全て満たせば修了証を発行する。

⑥グローバルポートフォリオ

各年度末の定められた期間に「グローバルポートフォリオ」を作成し、提出する。

特段の理由なく定められた期間に提出できなかった場合、次年度以降継続しないものとみなす。





あなたの不安や疑問をここで解決!



TOUGH program

Q&Aコーナー

Q 登録に必要な条件はありますか?

A 「グローバル基礎力養成コース」には、鳥取大学生であればどなたでも登録できます。(医学部医学科を除く)「グローバル強化コース」の登録には、「グローバル基礎力養成コース」登録者または修了者でTOEIC500点以上のスコアを取得している必要があります。

Q プログラムに登録することにメリットはありますか?

A グローバル化する社会を生き抜く基礎力、応用力を身につけることができます。また鳥取大学より「認定証」が授与され社会や企業などに、その能力をアピールできます。

Q 将来は海外で働くつもりがないのですが、登録した方が良いですか?

A 本プログラムで養われる力は、海外のみならず、グローバル化が進む日本社会でも必要となります。また、世界を知ることにもつながります。国内での就職を考えている方の登録もお勧めします。

Q コースに登録したいのですが…

A コース登録はとても簡単です。登録を希望される学生は年度開始時(4月中旬※)に開催される登録説明会に参加して、ホームページ上の登録フォームに入力し、登録完了となります。

◎登録期間

前期(第1クォーター)の履修登録期間と同じ

※登録説明会の開催日は共通教育棟学生掲示板、又は国際交流センター・国際交流課外掲示板をご覧ください。

<https://www.ciatu.tottori-u.ac.jp/online-application/tough-kiso>

Q コースに登録するモチベーションが上がらないのですが…

A ポートフォリオを作成することで、目標が明確になり、やるべきことが見えてきます。また、海外研修では学部や学年、国境を超えた仲間ができるので、まずは気軽に登録してください。

Q 各コースの認定に留学は必須ですか?

A グローバル活動ポイントには、国内での活動も含まれているので必須ではありません。しかし、日本で学ぶだけでは得ることのできない、数多くの体験や学びが留学には詰まっていますので、是非検討してみてください。

Q 留学にかかる費用が心配です。

A 日本学生支援機構(JASSO)や大学独自の奨学金を取得できるプログラムもあり、留学費用の負担を減らすことができます。また、語学研修や留学に行く国や期間を、自分の経済事情にあわせて選ぶことができます。詳しくは国際交流課へお問合せください。

Q 海外での留学生活について何かと不安です…

A 海外の文化・宗教・地理などを学べる「国際理解(グローバルスタディーズ)Ⅰ・Ⅱ」や海外での危機管理を学べる「海外安全管理Ⅰ・Ⅱ」などの講義を受けてみてください。留学のハードルが下がったり、不安への対策を自分の中に持つことができます。さらに海外教育プログラムは事前研修も充実しています。

Q 留学先で授業についていくだけの英語力があるか不安です…

A 授業以外にも、留学準備にぴったりの国内英語プログラムが用意されており、あなたの英語レベルにあったコースを選ぶことが可能です。留学生の日本滞在支援と異文化体験ができる日本語パートナー制度もあります。これら国内での活動もグローバル活動ポイントに含まれます。

【グローバル活動ポイント一覧】

	活 動	ポイント数
①	学術交流協定校への1学期以上の交換留学	5
②	「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」による留学	5
③	鳥取大学「Global Gateway Program」	3
④	各学部での海外研修プログラム	2~3
⑤	海外学術交流協定校等が主催する研修プログラム	3
⑥	語学強化コース(修了した場合のみ)	3
⑦	国内英語イメージンプログラム	2
⑧	G-frenzの活動	1~3
⑨	日本語パートナー(クラスパートナー/パートナーシップ)	1~3
⑩	留学生チューター	2
⑪	新入留学生受け入れサポート	1
⑫	国際交流センターが主催する国際交流イベント	0.5
⑬	国・地方自治体等が主催する海外派遣事業	2~5
⑭	生協やその他民間の団体・学校・企業等が主催する海外派遣プログラム(ボランティア活動・インターンシップ等を含む)	2~5
⑮	その他、グローバル活動として申請したい活動	0.5~5

■ 報告書は年2回(各学期末)の定められた期間に提出する。

■ ⑬~⑮のうち、大学を通して申し込んでいない場合は参加を証明するものを併せて提出する。

■ ⑥、⑧、⑨については1学期あたり、その他については1プログラムまたは1回あたりのポイントとし、同項目複数回の申請を認める。

■ ポイント数に幅のある項目については、報告書や参加実態を考慮してプログラム担当教員がポイントを決定する。

■ オンラインのみでの実施の場合は、ポイントが減少することがあります。

